

# 令和元年度 埼玉県臨床検査精度管理調査 目標値・解答一覧表

令和元年10月15日

臨床化学検査			
No	項目	試料1	試料2
1	AST (JSCC: IU/l 37°C)	35	158
2	ALT (JSCC: IU/l 37°C)	35	155
3	ALP (JSCC: IU/l 37°C)	289	428
4	GGT (JSCC: IU/l 37°C)	62	196
5	AMY (JSCC: IU/l 37°C)	89	318
6	C K (JSCC: IU/l 37°C)	136	434
7	L D (JSCC: IU/l 37°C)	157	419
8	ChE (JSCC: IU/l 37°C)	244	340
9	UN (Ure-UV :mg/dl)	14.8	38.2
10	CRE (酵素 :mg/dl)	0.93	3.78
11	UA (Uri-POD :mg/dl)	3.9	7.6
12	TG (FG:消去法 :mg/dl)	78	108
13	TCH (酵素法 :mg/dl)	148	206
14	HDL-C (直接法 :mg/dl)	47	64
15	LDL-C (直接法 :mg/dl)	82	113
16	TB (BOX etc :mg/dl)	0.7	4.7
17	Glu (HK :mg/dl)	88	192
18	TP (ヒ°レット :g/dl)	5.5	7.6
19	ALB (BCP改良 :g/dl)	3.4	4.7
20	Na (ISE :mmol/l)	133	147
21	K (ISE :mmol/l)	3.7	5.3
22	Cl (ISE :mmol/l)	98	114
23	Ca (アルセナ°Ⅲ :mg/dl)	7.5	10.0
24	Fe (N-PSAP :μg/dl)	101	195
25	IP (酵素法 :mg/dl)	3.5	6.7
26	CRP (LTX比濁 :mg/dl)	0.41	3.98
No	項目	試料3	試料4
27	HbA1c (NGSP :%)	5.9	11.2

血液検査			
No	項目	試料11	試料12
31	白血球数 (×10 <sup>9</sup> /L)	7.1	18.3
32	赤血球数 (×10 <sup>12</sup> /L)	4.36	5.36
33	ヘモグロビン量 (g/dl)	11.9	16.5
34	ヘマトクリット値 (%)	35.5	48.3
35	血小板数 (×10 <sup>9</sup> /L)	236	535

血液検査フォトサーベイ		
写真	コードNo.	分類名
1	46	偽ベルゲル核異常
2	63	反応性(異型)リンパ球
3	評価外	脱顆粒を伴う好中球
4	16	有核赤血球
5	72	巨大血小板

血清検査		
No	項目	試料23
52	HBs抗原	陽性
53	HCV抗体	陽性

\* 注意事項：全ての検査機器において結果が確認できているわけではありません。機器によっては結果が一致しない場合があります。詳細は後日刊行される報告書をご参照ください。

輸血検査			
No	項目	試料41	試料42
61	ABO式血液型	A型	O型
62	Rh式血液型	陽性	陽性
No	項目	試料43	試料44
63	抗体スクリーニング	陽性	陰性
No	項目	試料45	
64	抗体同定	抗Fyb	

一般検査				
No	項目	方法	試料51	試料52
51	蛋白定量 (mg/dl)	ヒ°ロ°ロ°ルット°法	63.7	155.8
52	糖定量 (mg/dl)	電極法/酵素法	517	151

一般検査フォトサーベイ		
写真	コード (表10)	理由 (表11)
問1	4	
問2	23, 24	210, 207, 208
問3	12	377, 323, 409, 452
問4	26	215, 508

問5	単核	1	個数	詳細分類	個数
				リンパ球	0
				単球	1
				マクロファージ	0
多核	4	個数	詳細分類	個数	
			好中球	4	
			好酸球	0	

微生物検査	
写真A	1099
写真B	1193
写真C	1135
Geckler分類	4
グラム染色	801
菌量	14
推定菌種	1019
試料61	1055
試料62	1126
試料63	評価はCLSI判定基準及び集計結果を考慮して行う。
試料64	評価はCLSI判定基準及び集計結果を考慮して行う。
試料65	グラム染色:804 推定菌種:1203

病理フォトサーベイ			
設問	解答	設問	解答
1	4	4	3
2	2	5	3
3	5	6	3

細胞診	
設問	推定病変
1	C
2	A
3	C
4	D
5	E
6	D
7	E
8	C
9	A
10	A
11	A
12	B
13	C
14	B
15	B

## 一臨床化学検査結果注意事項一

- \* ドライケミストリーの測定値は試料のマトリックスの影響により上記結果と一致しない場合があります。本試料はメーカーにも配布してありますので値の確認はメーカーにお問い合わせください。
- \* HDL-C, LDL-C, HbA1cは一部に試薬間差を認めるため、最終報告書の平均値と異なる可能性があります。
- \* 本結果は研究班施設による代表値ですので集団の平均値とは必ずしも一致しません。
- \* 本結果から大きくはずれている施設は早急に機器設定、試薬・標準品の確認等を行ってください。

1. 本結果は①標準化されているもの②埼臨技研究班で値付けができるもの③正解があらかじめ分かっているもの(フォトサーベイ等)のいずれかを満たすもののみを記載します。未記載項目は、2月に発刊される「令和元年度報告書」をご参照ください。
2. 本一覧の、濃度・活性で示す結果は「目標値」であり必ずしも集団の平均値とは一致しません。
3. この結果に関するお問い合わせは手引き書に記載されている担当までお願いいたします。

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会  
会 長 神山 清志